

○高潮堤防事業の状況

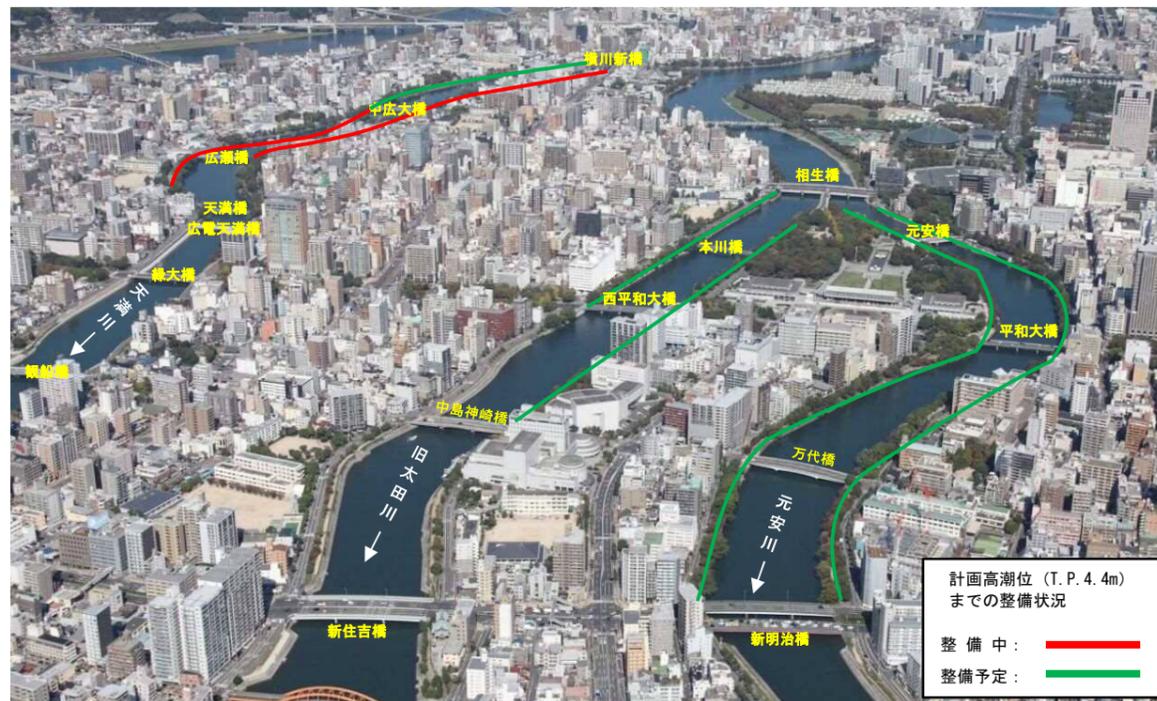
国土交通省による広島市街地の高潮対策事業は、太田川(放水路)、天満川、旧太田川(本川)、元安川の4河川^{※1}において、昭和55年より河口部から上流に向けて順次実施しています。

この事業は、戦後最大規模の高潮被害となった伊勢湾台風級の台風が、広島湾を通過した場合に起こると想定される高潮の潮位まで堤防を嵩上げするもので、太田川水系河川整備計画に基づき、計画高潮位T.P.4.4m^{※2}の高さまで整備^{※3}する工事を進めています。

※1：京橋川と猿猴川については広島県による対応となります。

※2：T.P.とは、東京湾平均海面を0mとした高さの基準で、一般に「標高」と呼ばれています。

※3：計画高潮位（T.P.4.4m）までの整備完了後、波浪の影響を考慮した高さ（計画堤防高：T.P.6.9～5.0m）までの整備を将来予定しています。



現在は、天満川の天満小学校前～中広大橋付近の右岸及び広瀬橋～横川新橋の左岸において工事を行っています。なお、今後は、天満川の右岸を横川新橋まで整備するほか、旧太田川（本川）と元安川の国道2号より上流についても、整備を行う予定としてい

○高潮堤防工事の進め方

高潮堤防工事は、河川沿いの遊歩道や緑地公園として多くの皆さまに利用いただいている場所で行っています。

緑地公園には大きく育った樹木がありますが、工事にあたっては、樹木を極力残すよう努力します。しかしながら、堤防の嵩上げ工事に影響する樹木については、やむを得ず伐採することがあります。

工事にあたっては、周辺の皆さまに説明を行い、ご理解を得ながら進めてまいります。地域の安全・安心のため、ご理解をお願い致します。

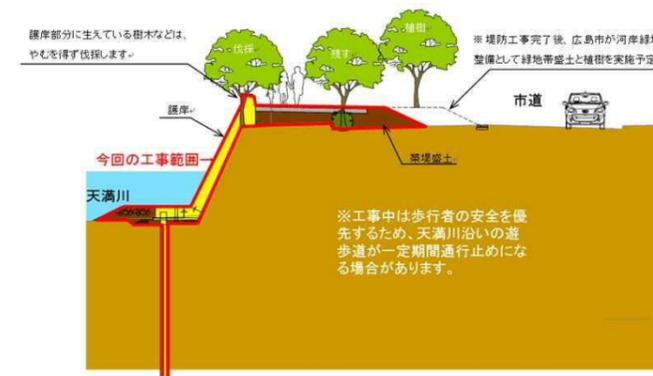
なお、高潮堤防工事の施工後、スペースが確保できる場所には、広島市により緑地公園が別途整備される予定です。



住民説明会の状況（平成30年10月）



国と広島市の現地検討状況（平成30年6月）



※上記イメージは、工事完成時と異なる場合があります。

天満川左岸未整備箇所の堤防構造
(中広大橋上流付近)



天満川左岸 整備後の状況
(新観音橋上流 平成29年撮影)